



TITLE:

露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(七)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(七). 經濟論叢 1918, 6(3): 355-365

ISSUE DATE:

1918-03-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127348>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號三第 卷六第

行發日一月三年七正大

論說

營業稅ノ課稅標準(一)……………法學博士 神戸 正雄

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(四)……………法學博士 田島 錦治

實質上ヨリ觀察セル植民地ノ分類……………法學士 山本美越乃

大阪ニ於ケル舊時ノ鹽問屋……………法學士 本庄榮治郎

露國ニ於ケルまゝるくす説ノ發達(一)……………文學士 米田庄太郎

社會學ト社會科學(三)……………文學士 高田 保馬

我國ニ於ケル營利心ノ起源及發達(一)……………文學士 銅 直 勇

時事問題

取引所外ニ於ケル定期取引(二)……………法學博士 戸田 海市

勸業銀行ト農工銀行トノ問題(二)……………法學士 河田 嗣郎

雜 錄

獨逸經濟學界近況(三)……………在 米 米田庄太郎

米國ノ戰時租稅法(二)……………法學士 阿部 賢一

米國ノ戰時海運政策(二)……………文學士 岸本熊太郎

社會批評家カゝあらいる(三)……………法學博士 石田 憲次

暴利取締令ノ適用ニ就テ……………法學博士 神戸 正雄

露國ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徵ト

最近ノ大革命（七）

米田 庄太郎

第一節 社會進化ト資本主義

（六）客觀主義

らぐるヲ及ビみかいるヲすぎニヨリテ唱導サレタル主觀主義ノ思潮ハ、前項ニ於テ述ベシ如ク、千八百八十年代ニ於テ其ノ人氣ノ頂上ニ達シタノデアルガ、同九十年代ニ入りテヨリ、其ノ思潮ニ對抗セル客觀主義ノ思潮ガ、大ニ勢力ヲ得テ知識階級ヲ支配シテ來タノデアル。而シテ其ノ客觀主義ト云フハツマリまゐるくす主義ヲ意味スルモノデアル。又まゐるくす主義ト云フハ、ツマリ哲學、社會學及ビ經濟學ニ於テかゝる、まゐるくすノ創始セル思潮、并ニ彼ノ唱ヘタル社會主義ノ新方針ヲ意味スルモノデアル。ソレデ茲ニ先ヅ、露國ニ於ケルまゐるくす主義ノ輸入并ニ傳播ノ歴史ヲ極簡單ニ述ベテ置ク。

露國ニ於ケルまゐるくす主義ノ輸入并ニ傳播ノ歴史一般、

抑々まゐるくすノ思想ハ、早クヨリ露國ノ思想界ニ傳ハリ、且ツ比較的ニ汎ク知ラレテ居ツタ

ノデアル。べりんすきーハ既ニまゐるくす及びるーげノ「獨佛年鑑」ヲ歡迎シテ居ツタ。又千八百四十八年前ノまゐるくすノ事ニ關シテモ、後ニ文學史家トシテ名ヲ擧ゲタあんねんこウ Arsenkov ニヨリテ、べどろぐらーどノ方ニ傳ヘラレテ居ツタノデアル。而シテへるつえん、殊ニばくにんノ如キハ、當時まゐるくすト親シク交ハツテ居ツタノデ、彼ハ千八百六十二年ニ「共產主義者宣言書」ヲ露譯シタ。又つかちえろ Tkachev ハまゐるくすが千八百五十九年ニ決定シタ形式ニ於テ、唯物史觀說ヲ千八百六十二年ニ露國ニ傳ヘタノデアル。而シテ千八百七十二年ニハにこらいおん Nikolai-on ニヨリテ「資本論」第一卷ガ露譯サレ、其ノ後ヤハリ同人ノ手ニヨリテ、其ノ第二卷ハ千八百八十五年ニ、又其ノ第三卷ハ千八百九十六年ニ譯サレタ。

らづろぐハ前項ニ於テ述ベシ如ク、唯物史觀ニ反對シテ居ツタガ、併シまゐるくす及び彼ノ仲間ト親シク交ハリ、且ツ彼等ヨリ多ク學ブ處ガアツタノデアル。みかいろぐすきーモ後ニハヤハリ前項ニ於テ述ベシ如ク、まゐるくす說ニ反對シタガ、併シ千八百七十年頃ニハ、まゐるくす說ニ從フテ露國ノ歷史的發達ヲ研究セントシ、又同年代ノ終リ頃ニモ、尙ホまゐるくす批評家つあぐすきーニ對シテ、まゐるくすノ思想ヲ辯護シテ居ツタノデアル。尙ホしえるぐのぐ Schelginov ハ千八百六十一年ニ公ニセル「英國及ビ佛國ニ於ケル勞働關係」ノ研究ニ於テ、えんげるすノ英國勞働者ノ狀態ニ關スル研究ヲ利用シ、又えんげるすノぢゆりんぐニ關スル著作ハ千八百七十八年其ノ刊行後間モナク露國ノ思想界ニ知ラレ、且ツ夫レガ爲メニぢゆりんぐノ思想モ露國ノ社會主義者ニヨリテ熱心ニ研究サレタ。

併シ露國ノ思想界ニ於テ、殊ニ歡迎サレタノハ、勞働論トシテノまゝるくすノ價值論デアツタ。始メテまゝるくすノ思想ヲ深ク詳シク研究セル著作、しーべる Stieber ノ「リカーどノ價值及ビ資本ノ説」ハ千八百七十一年ニ公ニサレテ居ルガ、其ノ中ニハまゝるくすノ説ハリカーど及ビすみすノ説ノ發達セルモノトシテ論究サレテ居ル。而シテ露國ノ經濟學者間ニアリテハ、まゝるくすノ價值論ハ、輒近ニ至ルマデ多數ノ祖述者ヲ有シテ居ツタノデアル。又まゝるくす自身モ露國ノ人民運動ニ就テ大ナル興味ヲ有シ、殊ニ其ノ經濟的關係及ビ其ノ發達ニ注意シテ、之ヲ研究シテ居ツタノデ、其ノ事ハ彼ガにこらいおんやぐーげるまん等ニ送レル書簡ニヨリテ知ラレルンデアル。

まゝるくすノ思想ハ、以上略述セシガ如クニシテ、露國ノ思想界ニ輸入サレタノデアルガ、併シ其ノ露國ノ社會運動ノ上ニ及ボセル影響ノ、稍々著シク現ハレ始メタルハ、瑞西ニ遁レタル露國革命者ノ間ニ、千八百八十三年設立サレタル社會民主主義的團體「勞働解放團」ニ於テデアル。此ノ團體ハ其ノ後「露國まゝるくす主義ノ父」ト、稱セラレテ居ルぶれかのゾノ指導ノ下ニ設立サレタルモノニシテ、千八百八十五年ニ發表セル其ノ綱領ハ、ぶれかのゾガ全然まゝるくす主義ニ從フテ考案セルモノデアル。而シテ瑞西ニ於ケルぶれかのゾ一派ノ運動ニヨリテ、まゝるくす主義ハ先ヅ露國智識階級ノ間ニ普及シ、彼等ハ熱心ニ之ヲ研究シ始メタガ、其ノ影響ニヨリテ千八百八十五年、ペートルグーどニ於テ、社會民主主義的一團體ガ組織サレタ。是レ露國內ニ於テ建設サレタル社會民主主義的團體ノ最初ノモノデアル。併シ間モナク政府ハ此ノ團體ヲ撲滅シタ。而シテ夫レヨリ千八百九十一年ニ至ルマデハ、露國ノまゝるくす主義者ハ、直接政治的煽動ニ與ラズ、

主トシテまゐるくす主義ノ研究ト學問的修養ニ力ヲ盡クシテ居ツタ。且ツ一般ノ人民モ此ノ間ハ甚ダ平穩デアツタ。然ルニ千八百九十一年ノ大饑饉及ビ虎列剌病ノ流行ハ、再ビ人民間ニ動搖ヲ起シテ來タ。而シテふれかのゲノ率ヒシ在外露西亞まゐるくす主義者ノ小團體ハ、此ノ機會ニ乘ジテ反政府の大活動ヲ試ミントシタ。彼等ノ目的ハ一切ノ反政府の要素ヲ合同シテ、以テ政府ニ當ラントスルコトデアツタ。併シ其ノ計畫ハ別段ノ効果ヲ奏シナカッタガ、而モ此ノ頃ヨリシテ露國ノ工業ガ著シキ發達ヲ始メ、工業勞動者ガ大ニ増加シ、且ツ彼等自カラ運動ヲ起サントスル形勢ガ現ハレ來リテ、まゐるくす主義者ノ活動ニ好地盤ヲ呈供シテ來タ。而シテ彼等ハ其等ノ勞動者ノ間ニ入リテ、職工組合ノ組織ヲ助ケ、同盟罷工ヲ指導シ、又基本金ノ積立ノ必要ヲ理解セシメタ。併シ種々ナル理由ニヨリテ、勞動者ノ團結ハ無數ノ地方的小團體トシテ組織サレ、其ノ間ニ何等ノ連絡モナカツタ。随フテ社會的勢力トシテハ其ノ力ハマダ微弱ナモノデアツタ。而モ千八百九十二年ヨリ同九十六年ニ至ル間ニ起レル勞動者階級ノ運動ニハ、大ニ注意ス可キ或物ガアル。夫レハ此ノ間ノ運動ハ勞動者間ニ於テ、自發的ニ生起セルモノデアツタト云フコトデアル。彼等ハ勿論智識階級ノ社會民主主義者ニヨリテ助ケラレタガ、併シ其ノ發意ヤ指揮ニヨリテ活動セシモノデナイ。又智識階級ノ社會民主主義者ハ、其等ノ勞動者間ニ、彼等ノ主義ヲ傳播スルニ最トモ適當ナル範域ヲ發見シ、之レト親密ニ接觸シテ來タガ、併シマダ其ノ運動ヲ指揮スルホドノ力ハ有タナカツタ。而シテ此ノ如ク勞動者ガ、自カラまゐるくす思想ヲ學ビテ、自カラ運動ヲ起シテ來タコトハ、露國ノ勞動運動ノ發達上、甚ダ重大ナル意義ヲ有スルモノデアル。勿論此ノ如

ク自覺的自發的ニ活動シ來レル勞働者ハ、比較的ニ少數デアツタガ、併シ彼等ノ運動ニヨリテ勞働者ノ自覺ハ段々ニ普及シ、而シテ夫レニ伴ナフテ又まゐるくす思想ハ、汎ク勞働者階級間ニ傳播シテ來タ。此クテまゐるくす主義ハ、一方ニ於テハ智識階級ノ間ニ傳播スルト同時ニ、他方ニ於テハ勞働者階級間ニ廣マリ、兩者ノ間ニ種々ナル差異アリシニ係ラズ、全體トシテハ兩者ハ益々親密ニ接觸シテ來タノデアル。

尙ホまゐるくす主義ノ傳播ヲ助ケシーノ重要ナル事情ハ、之レニ對スル政府ノ態度デアツタ。千八百九十年代ニ入りテヨリ、露國ノ大工業ハ急速ナル發達ヲナシ、農民ハ續々村落ヲ去リテ、工業の中心地ニ集注シ、更ニ之レガ爲メニ小都市スラモ處々ニ於テ衰退シテ來タ。而シテ露國ハ一躍シテ、農業國ヨリ大工業國ニ突進スルガ如キ形勢ヲ呈シタノデアル。此等ノ形勢ハ獨裁君主制ニ對シテ、一大危險ヲ意味スルモノデアルト、悲觀スル有力ナル人々モアツタガ、併シ政府ノ當局者ハ一般ニ之ヲ歡迎シ、露國ノ工業ガ大ニ發達シテ、國民の繁榮ノ時代ニ入ラバ、人民ノ革命的傾向ハ、自カラ終熄スルデアラウト考ヘタ。然ルニまゐるくす主義ハ、其ノ純經濟學的の方面ニ於テハ、大工業ノ發達ニ反對スルモノデナイ、殊ニ産業ノ總テノ方面ニ於テ、官營の企業ノ擴張ヲ主張スルモノデアル。サレバ續々官營の大企業ヲ起シツツアリシ露國ノ政府ハ自己ノ經濟政策ノ經濟學的基礎ガ、まゐるくす主義ノ經濟學說ニヨリテ確カメラレツツアルガ如クニ感ジタ。少クトモまゐるくす主義ノ經濟學說ハ、政府ニトツテ敢テ嫌忌ス可キモノデナイト考ヘラレタ。此クテ政府ハ社會民主主義トシテノ、まゐるくす主義ノ政治の方面ヲ出來ルダケ禁壓セントスル

ト同時ニ、其ノ經濟學的方面ヲ大ニ寛容シタ。而シテすつる一ゲエガ千八百九十四年ニ著述セル「評論集」ハ、檢閲ヲ無事ニ通過シテ發賣ヲ許可セラレ、又まゝるくすノ著作ハ一般ニ販賣ヲ許サレテ、何レノ書店ニ於テモ店頭ニ列ベラレルコトナツタ。ソコデ「官許まゝるくす主義者」ト稱セラルル學者ノ一群ガ起ツテ來タ。彼等ハまゝるくす説ノ社會民主主義的方面ヲ全ク無視シテ、其ノ經濟學説ノ方面ダケヲ祖述シ、或ハ之ヲ批判的ニ唱ヘタノデアル。而シテ其ノ中デ最トモ著名ナリシハ經濟學者ツーがん、ばらのグスキーデアツタガ、併シ殆ンド總テノ大學ノ、若キ經濟學ノ教官連ノ多數ハ、其ノ派ニ屬シテ居ツタ。併シ此ノ如クまゝるくす主義ノ經濟學的方面ダケヲ承認シテ、其ノ社會民主主義的方面ヲ全ク無視スルト云フガ如キ態度ハ、到底永ク保持シ得ラルルモノデハナイ。サレバ其ノ後彼等ノ多數ハ、或ハ社會民主主義的團體ニ加入シ、或ハ社會改良運動及ビ立憲運動ノ唱道者トナツテ反政府の運動ヲ起シタノデアルガ、トニカク右ノ如キまゝるくす主義ニ對スル政府ノ態度ハ、同主義ノ傳播ヲ大ニ助長スル結果ヲ生ジタノデアル。

却説以上述ベシガ如クニシテ、露國ニ傳播シ來レルまゝるくす主義ハ先ヅ思想界ニ於テハ大ニ人民主義ノ思想及ビ主觀主義ノ思想ニ對シテ戰ハチバナラナカツタ。サキニ述ベシ如ク、主觀主義ハ千八百八十年代ヲ通ジテ大ナル勢力ヲ振フテ居ツタノデアルカラ、客觀主義ヲ標榜スルまゝるくす主義ガ、思想界ノ權威トナルニハ先ヅ之レニ對シテ激シキ鬭爭ヲ試ミネバナラナカツタ。此クテぶれかのグ及ビすつる一ゲエ等ガ、卒先シテ大ニ主觀主義ヲ攻撃シ、更ニぶるがるグ、れーにん其他ノ論客ガ續々現ハレテ之レニ加ツタ。併シ主觀主義ノ思想家モ、彼等ノ攻撃ヲ受ケテ

沈黙シテ居ル筈ハナイカラ茲ニ主觀主義對客觀主義ノ大論爭ガ始マツタ。勿論カカル論爭ハ學理的ニ勝敗ヲ決シ得ラルルモノデナイガ、併シ後ニ述ブル理由ニヨリテ、智識階級ノ多數ハまゐるくす主義ヲ受ケ容レ、又勞働者ノ多數モ社會民主主義ヲ奉ズルニ至ツタカラ、一般ノ人氣ノ上カラ云ヘバまゐるくす主義ノ勝利ニ歸シタノデアル。併シ唯物主義的ナル正統派或ハ舊派まゐるくす主義ノ全盛ハ永ク續カナカツタ。是レ千八百九十年代ノ終リ頃ニハ、まゐるくす主義ノ本國タル獨逸ニ於テ、既ニ修正派ト稱セラルル理想主義的ナル新派まゐるくす主義ガ勃興シテ居ツテ、而シテ其ノ影響ガ間モナク露國ニ傳ハツテ來タカラデアル。此クテ露國ニ於テモ、舊派或ハ正統派まゐるくす主義ト、新派まゐるくす主義トノ二派ガ分レテ來タ。但シ露國ニ於ケル新派まゐるくす主義ノ發達ハ、單ニ獨逸ニ於ケルべるんしゆたいん一派ノ修正派勃興ノ影響ノミニヨリテ起レルモノト見ルコトハ出來ナイ。夫レ以前ヨリシテ露國ノ思想界ニ傳ハリ、且ツ實際的勞働運動ノ上ニモ影響ヲ及ボシツツアリシぞむばゐると、しゆるつゝげゐるにつつ、へるくなゝ、おれんたゝの等ノ思想モ、新派まゐるくす主義ノ發達ヲ誘致セル一原因ト認メネハナラス。更ニまゐるくす主義ノ上ニ及ボセル主觀主義ノ反動モ、亦其ノ一原因ト見做サネバナルマイト思フ。要スルニ千八百九十年代ニ於テハ、西歐一般ノ思想界ニ於テ、實證主義ヤ唯物主義ニ對シテ、理想主義、觀念主義ガ復興シ來リ、唯物主義的ナル正統派まゐるくす主義ノ根底ニ動搖ヲ生ジテ居ツタノデアルカラ、露國ニ於テモ正統派まゐるくす主義ハ到底其ノ全盛の勢力ヲ保持スルコトガ出來ナクナツタノデアル。

今露國ノまゝるくす主義ハ、右ニ述ベシ如ク、千八百九十年代ノ終リ頃ヨリ千九百年代ノ始メニカケテ、吾人ガ既ニ獨逸ニ於テ見ルガ如ク、正統派まゝるくす主義ト新派まゝるくす主義トニ分レタノデアルガ、其ノ舊派即チ正統派まゝるくす主義ノ代表的理論家ト見做サルハ、ぶれかのゲニシテ、彼ハ實ニ「露國まゝるくす主義ノ父」トモ稱セラレテ居ルノデアル。而シテ新派まゝるくす主義ノ代表的理論家トシテ著名ナルハ、すつるーゲン及びツーガン、ばらのゲンすきーデアル。ソレデ余ハ茲ニ先ヅ主觀主義ニ對抗シテ起レル純客觀主義ノ代表的思想家トシテ、正統派まゝるくす主義者ぶれかのゲン思想ヲ研究シ、而シテ次ニ新派まゝるくす主義ノ代表的思想家トシテ、すつるーゲン及びツーガン、ばらのゲンすきーノ思想ヲ論究セントスルノデアル。尙ホ目下過激派政府ノ大立物トシテ有名ナルれーにんハ、社會民主黨ノ一首領デアリ、又一般ニ正統派まゝるくす主義者ノ一人ト見做サレテ居ルガ、然ルニ詳シク彼ノ思想ヲ研究シテ見ルト、重大ナル方面ニ於テ正統派まゝるくす主義ノ思想ト大ニ異ナツテ居ル處ガアリ、且ツ其ノ方面ニ於テハ彼ハ主觀主義ノ思想ヲ巧ミニ攝取セルモノト認メラレルカラ、更ニ彼ノ思想ハ革命的さんぢかりずむト大ニ共鳴スル處ガアツテ、今日彼ノ政府ノナシツツアルコトハ、革命的さんぢかりずむノ上カラ見テ、甚ダ興味アルコトト思フカラ、ソレデ最後ニ過激派ノ代表的思想家トシテ、れーにんノ思想ヲ論究スルコトトスル。併シ夫レニ先ダチ、尙ホ千八百九十年代ニ入リテヨリテ、まゝるくす主義ガ客觀主義トシテ主觀主義ヲ壓倒シ、大ニ勢力ヲ振フニ至レル根本的理由ニ就テ、少シク論述シテ置キタイト思フ。

まゐるくす主義勃興ノ根本的理由

却説何故ニ千八百九十年代ニ入りテヨリ、まゐるくす主義ガ、大ニ勃興シ來レルカヲ、根本的ニ理解セシムル重大ナル理由ハ、少クモ二種アルト思フ。一ハ露國ニ於ケル西歐思想發達ノ一定ノ傾向ニシテ、二ハ露國ニ於ケル資本主義の大工業ノ發達デアル。

サキニ述ベシ如ク、すらゞ主義者及ビ露西亞主義者ハ、しえりんぐ及ビヘーゲルノ哲學ヲ基礎トシテ立證セルモノデアルガ、西歐主義者モ始メハヤハリヘーゲルノ哲學ヨリ出發シテ居ル。

併シ西歐主義者ハ一般ニヘーゲルノ哲學ニ止マラズシテ、其ノ左黨タル唯物主義的ナルふおいえるばつはノ哲學ニ移リ、且ツ英國ノ進化主義ノ思想ヤ、佛國ノ實證主義ノ思想ヲ攝取シタノデアル。而シテ主觀主義モ、ヤハリ始メハ一般ニ、ヘーゲルノ哲學ヲ研究シテ居ツタガ、夫レヨリヘーゲルノ左黨ノ唯物主義ヤ、佛國ノ實證主義及ビ英國ノ進化主義等ヲ通過シテ、遂ニ或者ハかんとニ返リ、或者ハ理想主義的ニ實證主義ヲ洗練セント企ダツルニ至ツタノデアル。要スルニ現代露國ノ社會思想家ノ基礎トセル哲學思想ノ發達ハ、其ノ全體ヨリ考察スレバ、しえりんぐ及ビヘーゲルノ理想主義哲學ヨリ出發シテ、ヘーゲルノ左黨ノ唯物主義哲學ニ移リ、之レニ佛國ノ實證主義及ビ英國ノ進化主義ヲ洗練セントスル方針ニ進ンダノデアル。併シ茲ニ又他ノ方針ガ發達シ得ル。夫レハヘーゲルノ理想主義哲學ヨリ、其ノ左黨ノ唯物主義哲學ニ移リ、之レニ佛國ノ實證主義及ビ英國ノ進化主義ヲ攝取シテ、更ニ之ヲ唯物主義的ニ洗練スルト云フ方針デアル。而シテ是レ實ニまゐるくす主義ノ根底ヲ流ルル哲學思想ノ方針デアルノデアル。まゐるくすハヘーゲルノ哲學ヨリ出發シテ、

其ノ左黨ノ哲學ニ移リ、佛國ノ實證主義及ビ英國ノ進化主義ヲ攝取シ、而シテ之ヲ唯物主義のニ洗練シテ、以テ彼ノ哲學、社會學、經濟學及ビ社會主義等ヲ建設シタノデアル。サレバ現代露國ノ思想界ニ於テハ、まゐるくす主義ヲ受ケ容ルル準備ガ、十分ニ整フテ居ツタノデアルガ、更ニ主觀主義ガ大ニ勢力ヲ振フニ當テ、之レニ對抗シテ起ラントスル思想家ハ、自然ニまゐるくす主義ノ方針ニ進マザルヲ得ナカツタト考フルコトモ出來ルノデアル。要スルニ露國ニ於ケルまゐるくす主義ノ勃興ハ、決シテ偶然デハナイノデ、其ノ發達ノ思想的地盤ハ十分ニ具ハツテ居ツタノデアル。併シまゐるくす主義ハ、何故ニ千八百九十年代ニ至ツテ始メテ勃興シ、夫レ以前ニハアマリ勢力ヲ振フコトガ出來ナカツタノデアルカ。余ハ其ノ根本的理由ヲ、千八百九十年代ニ於ケル露國ノ經濟的社會的發達ノ變動ニ於テ求メントスルノデアル。ツマリ千八百九十年代ニ至ルマデハ、露國ニ於テまゐるくす主義ノ勃興ヲ得ル經濟的社會的發達ノ地盤ハヨク具ハラナカツタガ爲メニ、夫レ以前ニ於テ其ノ勃興ヲ見ルコトガ出來ナカツタモノト見ルノデアル。

今單ニ思想發達ノ形勢ヨリ考察スレバ、西歐主義者ちえるにしえすき一派ノ唯物主義的社會主義ニ反動シテ、主觀主義ガ勃興スルト同時ニ、之ヲ一層論理的ニ洗練シ、又徹底サセタモノトシテ、まゐるくす主義モ勃興シ得タ等デアル。然ルニ實際ニ於テハ其ノ事ナクシテ、獨リ主觀主義ノミガ大ニ勢力ヲ振ヒ、千八百九十年代ニ至ルマデ、まゐるくす主義ノ勃興ヲ見ナカツタノハ、是レ全ク露國ノ經濟的社會的状態ガ、此ノ頃ニ至ルマデ、まゐるくす主義ノ眞義ヲヨク理解セシメナカツタカラデアラウト思フ。夫レ何レノ國民ニ於テモ、まゐるくす主義ガヨク理解セラレ、思想界ニ於テモ、亦實際ノ人民運動ニ於テモ、其ノ意義ガ十分ニ認メラルルニ至ルニハ、其

ノ國民ニ於テ先ヅ資本主義が大ニ發達シ、而シテ之レニ必然的ニ附隨スル工業労働者が大ニ増加シ、且ツ彼等ノ自覺シ來ルコトガ必要デアル。此等ノ經濟的社會的條件ガ具ハルニ非ラズバ、まゝるくす主義ハ到底思想界ニ於テモ亦實際界ニ於テモ、現實ナル一勢力トナルコトガ出來ナイノデアル。是レまゝるくす主義ハ、單ニ現代思想運動ノ一生産物タルニ止マルモノデナク、實ニ資本主義ノ發達ニ、必然的ニ伴ヘル工業労働者ノ増大、并ニ彼等ノ自覺ガ自カラ産ミ出セル現實的思想デアルトモ、考ヘ得ラルルホドノモノデアルカラデアル。然ルニ露國ニアリテハ、あれきさんだー第二世ノ時代ヨリ既ニ資本主義ガ段々發達シテ來タガ、併シ千八百九十年代ニ入ルマデハ、其ノ發達ハアマリ大シタモノデハナカツタ。又労働者ノ數モアマリ多カラズ、且ツ彼等ノ自覺ハ發達シナカツタ。而シテ此ノ時代ニ入りテヨリ、露國工業が大ニ發達シ來ルニツレテ、労働者モ大ニ増加シ、殊ニ彼等ハ自覺シテ來タ。此クテまゝるくす主義ガ眞實ニ理解セラレ、其ノ意義ガ十分ニ認メラルル經濟的社會的條件ガ、具ハツテ來タノデアル。而シテ此等ノ事情ガ、主觀主義ニ對スル思想的反動ト相待ツテ、茲ニまゝるくす主義ノ勃興ヲ見ルコトトナツタノデアル。但シ露國ニ於ケル資本主義ノ發達ニ就テハ、本論文第二節ニ於テ、特ニヤヤ詳シク論述スル考ヘデアルカラ、茲ニハ別ニ論述セズニ置クコトトスル。

以上述べ來リシ處ニヨリテ、露國ニ於ケルまゝるくす主義ノ輸入并ニ其ノ傳播ノ一般ヲ明ラカニシ、且ツ特ニ千八百九十年代ニ入りテヨリ、其ノ著シク勃興シ來レル所以ノ一班ヲ究明シタト思フカラ、之レヨリサキニ述ベシ順序ニ從ガヒ、先ツ正統派まゝるくす主義ノ代表的理論家トシテ、ふれかのゲノ思想ノ大要ヲ考究スルコトトスル。